

2023 年度 第 2 回 8 月九大本番レベル模試 地理 採点基準

■ 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは 0 点。

■ 論述問題

- ① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。
- ② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

■ 共通減点基準

- ① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは 1 点減点。
- ② 下線の付け忘れは 1 問につき 1 点減点。
- ③ 指定語句不使用は，指定語句 1 つにつき 1 点減点。  
(解答中のどこかで使用していればよい。  
加点ポイントの脱落による減点がある場合は，それ以上の減点は不要。)
- ④ 字数オーバーは 1 点減点。

\*減点しなくていい要素，その他の注意

- ① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。
- ② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は 0 点だが，減点はしない。
- ③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。
- ④ 文章が未完のものも減点しない。

■ 採点記号について

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実に誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

### ■ 設問別加点基準

- 1) \_\_\_\_\_ 部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。

[1]

#### 問 2 12 点

カナダではケベック州の B 地域と A を用いるその他の地域、ベルギーでは北部のオランダ語地域と南部の B 地域との対立構造があった。いずれも双方の言語を公用語としており、前者では互いの共存を図る多文化主義を採用して少数派の権利を保障し、後者では連邦制を採用して各々の言語共同体や地域政府に強い自治権を与えた。

#### 【加点ポイント】

(※問 1 の可否は問わない。また、言語名は記号を用いても構わない。)

#### i) カナダについて (6 点)

##### ①<2 点> 【言語事情について】

○英語 (A) とフランス語 (B) の話者がいる

##### ②<2 点> 【①について】

○ケベック州ではフランス語 (B) が話される

##### ③<2 点 (1 点×2)> 【言語政策】

○英語 (A) とフランス語 (B) の両方を公用語とする →1 点

○多文化主義 →1 点

#### ii) 「①国」について (6 点)

##### ④<1 点> 【「①国」の国名】

○ベルギー

#### ★⑤～⑦は④の加点を前提とする

##### ⑤<2 点> 【言語事情について】

○オランダ語とフランス語 (B) の話者がいる

##### ⑥<1 点> 【⑤について】

北部でオランダ語、南部でフランス語 (B) が話される

##### ⑦<2 点 (1 点×2)> 【言語政策】

○オランダ語とフランス語 (B) の両方を公用語とする →1 点

(※「ドイツ語」も公用語であるが有無は不問とする)

○連邦制の採用／言語共同体の採用／地域政府の権力強化／言語別の連邦制を採る →1 点

問 3 12 点

旧イギリス領のインドとシンガポールは共に A を使える人材が多く、前者ではアメリカ合衆国からソフトウェア開発の業務を受注する企業が増えるなど、情報通信技術産業が成長した。後者は多国籍企業とそれらに投資や融資を行う金融機関が集積する国際金融センターに成長し、世界中から商取引のために人が訪れるようになった。

【加点ポイント】

(※言語名は記号を用いても構わない。)

ii) インドについて (6 点)

①<1 点> 【経済に好影響を与える言語名】

○英語 (A)

★②③は①の加点を前提とする

②<1 点> 【①の背景】

○旧イギリス領/旧宗主国がイギリス/イギリスの植民地であった

③<4 点 (2 点×2)> 【英語が経済に与える好影響】

○情報通信技術産業が発達/IT (ITC) 産業が発達 →2 点

○アメリカ合衆国から業務を受注/アメリカ合衆国との時差を活用した仕事が多い →2 点

iii) 「②国」について (6 点)

④<1 点> 【「②国」の国名】

○シンガポール

★⑤～⑦は④の加点を前提とする

⑤<1 点> 【経済に好影響を与える言語名】

○英語 (A)

★⑥⑦は⑤の加点を前提とする

⑥<1 点> 【⑤の背景】

○旧イギリス領/旧宗主国がイギリス/イギリスの植民地であった

⑦<3 点> 【英語が経済に与える好影響】

○国際金融センターとして発達/金融業が発達/多国籍企業が集積  
/世界中の大企業が集積/国際的商取引が活発に行われる

問 4 16 点

※ 【指定語句】 北アフリカ 旧宗主国 国境 サハラ以南のアフリカ スワヒリ語

5 つ全て使用 (※下線不要)

☆☆ 指定語句不使用は、指定語句 1 つにつき 1 点減点。  
ただし、解答中のどこかで使用していれば減点しない。

北アフリカの多くの国は、西アジアからイスラームとともに伝播したアラビア語を公用語としている。  
サハラ以南のアフリカは、旧宗主国が民族分布を無視して引いた境界を国境として引き継ぎ、母語の異なる複数の民族が存在する国が多い。よって、ほとんどの国が民族間の意思伝達手段として旧宗主国の言語を公用語とするが、東アフリカのいくつかの国は、在来の言語がアラビア語の影響を受けたスワヒリ語も公用語としている。

【加点ポイント】

i) 北アフリカの国々について (5 点)

①<3 点> 【公用語】

○北アフリカではアラビア語が公用語である

②<2 点> 【①の背景】

○イスラム教 (イスラーム) とともに伝播 (※「イスラム教」の影響が読み取れれば加点)

ii) サハラ以南のアフリカについて (6 点)

③<2 点> 【公用語】

○サハラ以南のアフリカでは旧宗主国の言語を公用語とする国が多い

×サハラ以南のアフリカでは英語やフランス語を公用語とする国が多い

④<2 点> 【③の背景】

○一国内に複数の民族が居住 / 民族の分布と国境が食い違う / 国境が民族分布を無視している

⑤<2 点> 【④の背景】

○旧宗主国が引いた境界が国境となっている / かつてヨーロッパ諸国が国境をきめた

iii) スワヒリ語を公用語とする国について (5 点)

⑥<3 点> 【スワヒリ語を公用語とする地域】

○東アフリカではスワヒリ語も公用語とする国がある。

→ (※タンザニア・ケニア・ウガンダ のうちいくつかの国名でも可)

これらの国では英語 (旧宗主国の言語) とスワヒリ語が公用語である)

⑦<2 点> 【スワヒリ語の特徴】

○在来の言語がアラビア語の影響を受けた / 民族語とアラビア語が混じった

[2]

問 2 16 点

※ 【指定語句】 

移住	地域開発	北京	民族言語
----	------	----	------

 4 つ 全 て 使 用 (※下線不要)

☆☆ 指定語句不使用は、指定語句 1 つにつき 1 点減点。 ただし、解答中のどこかで使用していれば減点しない。
---

漢民族でも話し言葉が南北で大きく異なるため、北京語をもとに標準語が定められ、学校教育を通して普及が進んだ。少数民族の多い地域に置かれた民族自治区では、独自の言語を尊重し民族言語の教育が行われたが、近年中国語教育が強化されて反発を招いている。また、西部地域では政府主導の地域開発に伴い漢民族の移住が進んでおり、同化を迫られる少数民族との間での摩擦が強まっている。

【加点ポイント】

i) 中国の言語政策について (8 点)

①<2 点> 【標準語について】

○北京語を標準語と定めている／学校教育 (マスコミ) などでは北京語が使われる

②<2 点> 【①の背景】

○中国語 (漢語) は南北で口語が大きく異なる／中国語 (漢語) は方言 (地方語) が多い

③<2 点> 【少数民族の言語について】

○少数民族の多い地域では民族言語の教育を認めていた  
／民族言語が尊重されていた

④<2 点> 【近年の傾向】

○中国語 (漢語) 教育が強化されている／法律で中国語 (漢語) を共通言語と定めた  
／民族言語の排除が進んでいる

ii) 西部地域の状況について (8 点)

⑤<2 点> 【開発について】

○西部では地域開発が進んでいる／西部大開発が行われている

⑥<2 点> 【⑤の影響】

○西部への漢民族の移住が進んだ／西部に漢民族が多数流入 (増加) した

⑦<4 点 (2 点×2)> 【⑥の少数民族への影響】

○少数民族 (ウイグル族) が漢民族への同化を迫られている  
／ウイグル語の使用が制限されるようになった

／少数民族 (ウイグル族) への同化政策が強化されている →2 点

○少数民族と漢民族 (政府) との間で摩擦 (対立) が強まっている

／政府が少数民族 (ウイグル族) を弾圧することに非難が集まっている

／少数民族 (ウイグル族) の反発が起こっている

→2 点

問 3 10 点

改革開放政策では市場経済を導入し、海外からの投資を受け入れた。海外資本は、中国の安価な労働力を背景に、中国に生産拠点を移した。中国では技術移転が進み、軽工業分野で輸出指向型工業化が進み、やがて機械工業などの付加価値の高い分野にも波及した。

【加点ポイント】

i) 改革開放政策について (4 点)

① < 4 点 (2 点 × 2) > 【政策の内容】

○ 市場経済を導入 / 資本経済の仕組みを導入 → 2 点

○ 海外からの投資を受け入れた / 外資の導入 / 経済特区の設置 → 2 点

ii) 中国の工業化について (6 点)

② < 2 点 > 【1980 年代の工業化】

○ 軽工業が発達 / 衣類などの工業が発達 / 輸出指向型工業化が進んだ

③ < 2 点 > 【1990 年代の工業化】

○ 機械工業が発達 / 付加価値の高い工業が発達

／ 電子・パソコン・通信機器・家電・自動車などの工業が発達

(※ 付加価値の高い工業の具体例を挙げてても加点)

④ < 2 点 > 【②③の背景】

○ 安価な労働力

問 4 16 点

※ [指定語句] 一帯一路 投資 貿易摩擦 消費市場 4 つ 全 て 使 用 (※下線不要)

☆☆ 指定語句不~~使用~~は、指定語句 1 つにつき 1 点減点。  
ただし、解答中のどこかで使用して~~い~~れば減点しない。

中国は自由貿易の恩恵を受け、世界最大の工業製品の生産・輸出国となった。大幅な貿易黒字が続き、アメリカ合衆国との貿易摩擦が生じている。膨大な人口を有する中国は、経済成長にともない巨大な消費市場ともなり、世界各地から原燃料や農産物を輸入している。中国は一帯一路構想を打ち出し、対象地域であるアジア、アフリカ諸国への投資も積極的に行い、政治・経済的な影響力を強めている。

【加点ポイント】

i) 「世界の工場」について (8 点)

①<3 点> 【中国の世界的地位】

○世界最大の工業製品の生産国である／世界最大の工業製品の輸出国である

②<2 点> 【WTO 加盟の意義】

○自由貿易ができるようになった／関税障壁が軽減された

③<3 点> 【①の影響】

○アメリカ合衆国との貿易摩擦が生じている →3 点

△「貿易摩擦が生じている」のみで「アメリカ合衆国」の指摘が無い →2 点

ii) 「世界の市場」について (4 点)

④<2 点> 【「世界の市場」と呼ばれる背景】

○膨大な人口を有し巨大な消費市場となる／人口約 14 億人で消費市場として大きい  
／世界最多の人口で世界最大の消費市場となる →2 点

△「巨大な消費市場」のみで人口への言及がない →1 点

⑤<2 点 (1 点×2)> 【中国の輸入品の例】

○原燃料／原油／石炭／天然ガス／鉄鉱石 など	}	1 つ 1 点 2 点まで
○農産物／穀物／米／小麦／大豆 など		
○機械類		

iii) 一帯一路構想について (4 点)

⑥<2 点> 【一帯一路構想の内容】

○一帯一路構想によりアジア (やアフリカ) への投資を行っている

／一帯一路構想によりアジアやアフリカ諸国のインフラ整備に投資や援助を行っている  
    ▶ (道路・鉄道・港湾など)

⑦<2 点> 【一帯一路構想の目的】

○中国の世界への政治的 (経済的) 影響力を強める

／安定的な資源輸入先とする／自国製品の輸出先とする